

三四三八番

都武賀野つむがのに 鈴すずが音聞おとぎこゆ 可牟思太かむしだの 殿とのの仲なか
郎ちし 鳥狩とがりすらしも

三四三九番

鈴すずが音ねの 駅家はゆまうまやの堤井つつみゐの 水みづを飲たまへな 妹いもが直ただ
手てよ

三四四〇番

この川かはに 朝菜洗あさなあらふ児こ 汝なれも我あれも よちをそ持もて
る いで子賜こたばりに

三四四一番

ま遠とほくの 雲居くもゐに見みゆる 妹いもが家へに いつか至いたら
む 歩あゆめ我あが駒こま